

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18217
課題名	抗加齢疫学研究プロジェクト
研究期間	西暦 2019年 1月 31日 ～ 2025年 3月 31日
研究の対象	<p>研究に協力いただいている市町村（添付資料1）の住民の方で下記の条件に当てはまる方が調査対象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険に加入していらっしゃる住民</li> <li>・後期高齢者医療制度に加入していらっしゃる住民</li> <li>・住民健診をうけていらっしゃる方</li> </ul>
利用する試料・情報の種類	<p><input checked="" type="checkbox"/>国保データ：ICD傷病名、診療行為（受けた検査や処方内容、手術名、材料名）、医療費、介護費</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>後期高齢者医療データ：ICD傷病名、診療行為（受けた検査や処方内容、手術名、材料名）、医療費、介護費</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>健診データ：年齢、性別、身長、体重、血液検査データ、尿検査データ、追加検診データ（動脈硬化度や認知度を測定する検査です）。</p> <p>以上のデータは匿名化されて、個人が特定できないよう加工されたものです。</p>
研究の意義、目的	<p>道北・道東・道央地区の高齢化の進行は深刻であり、旭川市の高齢化率（人口に占める65歳以上の比率）は32%に到達し、旭川医科大学病院に入院する患者さんの高齢化も顕著になっております。旭川医科大学病院に入院してくる患者さんの半数近くは道北道東道央など旭川市以外からの方々でありまして、そうした観点から、地域の皆様と住民の健康管理を共に進めてゆくことも大学病院の使命であると考え、いかに健やかに老後を迎えるかを地域住民や市町村行政とともに考えてゆく研究「抗加齢プロジェクト」を立案いたしました。</p> <p>高齢化で問題となっているのは動脈硬化性疾患（脳卒中、心筋梗塞、下肢血管病、腎不全）や高齢者うつ、認知障害でありまして、それらには若い頃からの生活習慣が深く関わっていることが分かっております。また、近年、高齢者の栄養障害や筋力低下が、動脈硬化性疾患やうつ、認知障害にも深く関わっていることが注目されております。</p> <p>本研究では、地域における生活習慣病の発生状況、生活習慣病保有数、生活習慣病に対する治療内容や自治体の取り組み、そして高齢者の栄養状態などを明らかにし、その地域において優れている取り組みや不足している問題点を明らかにし、今後の地域住民の健康意識の向上や健康増進の方策に役立てる基礎データを築くことにあります。</p>
研究の方法	<p>研究協力許諾が得られた自治体から、個人が識別できないよう符号化された住民（国民健康保険に加入し、健診を受けている65歳以上の方および後期高齢者医療制度をお使いの75歳以上の方）の国保データ・後期高齢者医療データと健診データを連結した状態で提供いただき、そのデータを下記の内容について解析い</p>

	<p>たします。解析結果は自治体にフィードバックいたします。</p> <p>1. データ入手方法：市町村長に許諾を得て、市町村と旭川医科大学が共同研究契約を締結し、データ提供いただく（データの授受については市町村側と大学側で記録を残す）。データの内容は以下のとおり：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国保データ：ICD傷病名、診療行為（受けた検査や処方内容、手術名、材料名）、医療費、介護費</li> <li>・後期高齢者医療データ：ICD傷病名、診療行為（受けた検査や処方内容、手術名、材料名）、医療費、介護費</li> <li>・健診データ：年齢、性別、身長、体重、血液検査データ、尿検査データ、および追加検診データ（動脈硬化度や認知度を測定する検査）</li> </ul> <p>2. 解析内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生活習慣病罹患状況（高血圧、糖尿病、脂質異常、腎機能障害の各頻度、および重複割合）</li> <li>② 各種生活習慣病に対する投薬状況、薬品の種類（急速に進歩する医療・医薬の恩恵享受の有無）</li> <li>③ 認知症に対する処方の頻度、処方対象者の生活習慣病合併状況等</li> <li>④ 健診データ解析：血液検査値（HbA1cや脂質データ、栄養状態）と上記3項目の関係解析、生活習慣病管理の良しあし、血液検査による栄養状態や身長体重からみた高齢者の栄養不足状況解析</li> <li>⑤ 下肢血管検診がなされていれば、その結果と生活習慣病罹患状態、管理状態、栄養不足との関連、処方薬との関連、認知症処方率との関連等</li> </ol> <p>3. 解析結果の利活用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自治体へのフィードバック</li> <li>② 旭川医科大学講師陣による専門領域の住民講演</li> <li>③ 今後の抗加齢プロジェクトへのデータ活用</li> </ol>
その他	<p>当研究は、旭川医科大学の大学プロジェクトとして運営され、下記の機関との共同研究として実施しております。</p> <p>共同研究機関：興部町および医療法人朱光会オロロンライン眼科</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先：旭川医科大学 抗加齢プロジェクト事務局 担当 菊地信介  住所：078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  TEL：0166-68-2494 FAX：0166-68-2499</p> <p>研究責任者：旭川医科大学 抗加齢プロジェクトチームリーダー  （外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授） 東 信良</p>